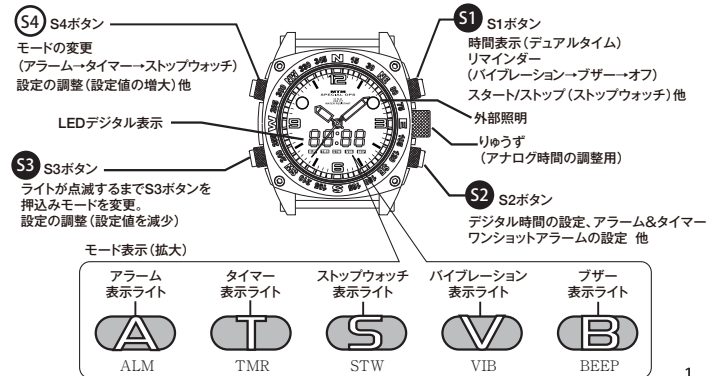


MTM Watchの使命は、最先端の技術を活用し、タフで信頼性の高い頑丈なミリタリーウォッチを開発することです。この時計は、ミリタリースペックに準拠し、21世紀の未来の戦士と軍隊を補完していくこととしてしよう。



この度はMTM社の充電式時計 (MTM社独自の電磁誘導式充電システム) をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に当取扱説明書をお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。

各 部 名 称



製品仕様

時計		チャージャー	
精度:	常温携帯で平均月差±20秒以内 充電中は、精度が変わることがあります。	充電システム:	電磁誘導方式
電池寿命: (フル充電後)	約1ヶ月 以下の日々の作動下 時間表示 (点灯時間) LED: 9秒 アラーム・ブザー (持続時間): 30秒 ライト (点灯時間): 20秒 *ライト及びブザー機能を頻繁に 繰り返し使用すると電池の持ちが短くなります。	動作温度 範囲:	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
ムーブメント:	MTM社仕様クォーツ	電源電圧:	AC100V~240V(50/60Hz)
ケース:	ソリッドチタニウム	消費電力量:	2.0W (充電時)
ベゼル:	逆回転防止ベゼル	動作条件:	屋内で使用の際はお風呂場、 キッチンやその他高温多湿の場所はお避け下さい。
りゅうず及び ブッシャー:	圧下、ロック式		
耐水性:	100m/300フィート		
ガラス:	耐傷性、UVコーティング、サファイアクリスタル		
電池:	リチウムイオン電池 (二次電池)		
水晶発振 周波数:	32,768Hz		
追加機能:	過充電防止・低電圧警告		

製品のデザインや仕様は予告なく変更されることがあります。

機能説明

当SILENCERはブザーやバイブレーションによって事前に設定した時刻にリマインドすることができます。

■時計の機能を設定する前に、それぞれのブッシャー (ボタン) を反時計回りに回してロックを解除する必要があります。ただし、締め過ぎにはご注意ください。SILENCERの機能を設定した後、ブッシャーを時計回りに回してロックし直すことを忘れてください。その際、締め過ぎにはご注意ください。あなたのSILENCERの防水機能のためにこれらのステップを覚えておいてください。

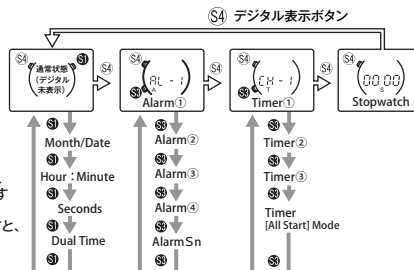
デジタル表示及びモード切替方法

■ デジタル表示

S1ボタンを押し、ノーマル (デジタル表示なし) → 月/日 → 時/分 → 秒 → デュアルタイムディスプレイが表示されます。S1ボタンを5回押しした後、通常モードに戻ります。

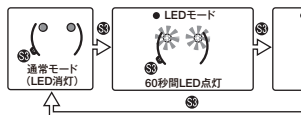
■ モード切替

S4ボタンを押すと、4つのモードが順番に表示されます。(ノーマル、アラーム、タイマー、ストップウォッチ) 4つ目のモードの後、再度押すとノーマルモードに戻ります。アラーム、タイマーモード中にS3ボタンを押すと、設定番号が変更されます。



LEDライト

この時計には2つの白色LEDが装備されています。S3ライトボタンを押すことで点灯や点滅モードを切り替えることができます。



S3ボタンを押すと、LEDが点灯します。数秒後、LEDの明るさが低下します。電池残量が少ない時は照明が暗くなり、残照時間が短くなります。電池残量がなくなると、LEDは点灯しなくなります。この場合は、できるだけ速やかに電池を充電してください。デジタルディスプレイがオンの際は、LEDは使用できません。LEDが点灯している際は、他の機能は使用できません。

注意
目を傷める可能性がありますので、長い時間LEDの照明を見つめないで下さい。

時計の合わせ方

■ アナログ時刻の合わせ方

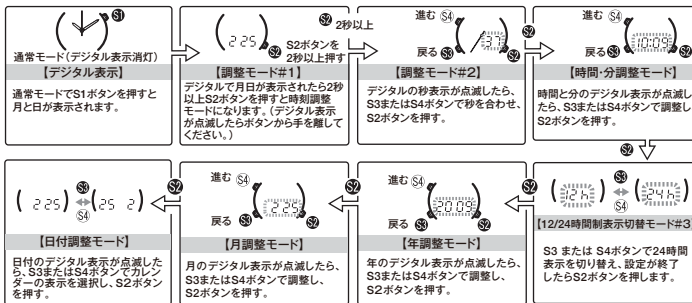
時刻を合わせる場合は最初にアナログの時刻を、次にデジタルの時刻を調整ください。

りゅうずを緩めます (反時計回り)。秒針が0を指したら、りゅうずを引き出します。りゅうずを回して時間と分を合わせます。設定する時刻より一旦分針を5分程度進め、再度巻き戻し設定したい時刻に合わせます。時報に合わせりゅうずをゆっくり押し戻します。りゅうずを押し戻すとデジタル秒表示は自動的に00にリセットされます。デジタル秒数表示の値が00~29の時は00に切り下がり、秒表示の値が30~59の時は、秒は1分に切り上がります。りゅうずを時計回りに回し締めます。(但し締めすぎないでください。)

時刻の合わせ方 (続き)

■ デジタル時刻の合わせ方

時刻を合わせる場合は最初にアナログの時刻を、次にデジタルの時刻を調整ください。



P6に続く

■ デュアルタイム調整モード
 “dual”が表示され時間が点滅したら、S3またはS4ボタンでデュアルタイムを調整し、S2ボタンを押す。

■ キーボード音調整モード
 キーボードモードに切り替わると“B:ブザー”が表示されます。S3またはS4ボタンでON/OFFを切り替え、S2ボタンを押す。

■ [アラーム時刻表示ON/OFF]
 “disp”と“A”アラーム点灯、T:タイム点灯が表示されたらS3またはS4ボタンでON/OFFを切り替え、S2ボタンを押して調整モードを終了します。

■ 設定値の合わせ方

S4ボタンを押すと設定値を一つ進めます。またボタンを長押しすると表示が進みます。

進む S4

戻る S3

S3ボタンを押すと設定値を一つ戻せます。またボタンを長押しすると表示が速く戻ります。

戻る S3

20秒間ボタンを操作しないと、時間調整は自動的にキャンセルされます。いずれかのボタンを押すと、さらに20秒延長されます。

1) デジタル表示の調節
 デジタルが表示されている際にS2ボタンを2秒以上長押しします。

2) 第二調節モード
 アナログおよびデジタル時刻の両方を合わせると秒も自動的に同期します。取扱説明書通りに設定しない場合アナログとデジタルの秒表示にズレが生じます。

3) 12/24時間制の調整モード
 時間制の選択はデジタル時刻、デュアルタイム、アラーム時刻に適用されます。調整モードの際、時刻は24時間制で表示されます。

■ アラーム機能
 アラームは最大5つまで設定可能です。

■ アラーム表示
 通常モード状態からS4ボタンを押すとアラームモード[A]となります。さらにS3ボタンを押すと順にアラーム①→アラーム②→アラーム③→アラーム④→スヌーズアラームと切り替わります。さらに5回目にはアラーム①となります。

■ アラーム設定
 [アラーム時刻設定] アラームを10:08p.m.にブザー設定する場合

■ [バイブレーション]とブザー設定
 アラーム表示[A]がオンの際、S1ボタンを押しバイブレーション(振動)とブザーを切り替えます。

■ アラームの解除
 アラームは30秒間鳴ります。いずれかのボタンを押しアラームを停止します。

アラームは24時間周期です。一度アラームを設定すると毎日鳴ります。アラームを停止するには[V:バイブレーションとブザー設定]をオフにします。

■ スヌーズアラーム (ALSn)
 5つ目となるアラームモード(ALSn)は3分毎に2回鳴動します。このスヌーズアラーム設定の操作方法はアラーム1~4と同様です。アラームは30秒間鳴動します。いずれかのボタンを押しアラームを停止します。そしてスヌーズ機能がオンとなりアラーム表示[A]が点滅し24時間リビートします。設定したアラームは毎日鳴動します。日々のアラームを停止するには[V:バイブレーションとブザー設定]をオフにします。

スヌーズオンの例 (例: 6:45)

S1ボタンを2秒以上長押ししてスヌーズアラームは停止します。アラーム表示[A]の点滅が消灯します。ほかの操作がなされている際はS1ボタンを長押ししてもスヌーズ機能は解除できません。

■ ワンショットアラーム機能

■ ワンショットアラーム
 ワンショットアラーム機能は、現在時刻からアラームを設定したい場合に特に便利です。当機能は繰り返しません。アラームは30秒鳴動します。アラームを停止するにはいずれかのボタンを押します。

■ タイマー機能
 カウントダウンタイマーには3つの自動リビート設定モードがあります。カウントダウンの時間は1分から23時間59分まであります。

■ タイマー表示 通常モード状態からS4ボタンを2回押すとタイマーモード[T]となります。S3ボタンを押すとタイマー①→タイマー②→オールスタートモードと切り替わります。

■ タイマー設定 タイマー③設定例:タイマー③20時間8分後にV:バイブレーションをタイマー③にて設定

■ タイマーの使用

【開始】 タイマー表示は10秒間点灯し、S1ボタンを押すとタイマーがスタートします。(タイマーがスタートした後時間と分の間のコロ(●)が点滅を始めます。残時間が60秒を切るまでコロは消灯します。タイマーを開始または停止するにはS1ボタンを押します。

【リターン】タイマーリターン設定
 ① 停止 ①S1ボタンを押すとタイマーは停止します
 ② リターン ②S2ボタンを押すと元の設定時間に戻ります。

■ タイマーの停止
 タイマー操作は30秒間可能です。いずれかのボタンを1回押すとカウントダウンは止まりません。タイマーは繰り返し使えます。タイマー機能はいずれかのボタンを押すと解除できます。タイマーのカウントダウンは停止しますがタイマーランプが消灯するとタイマー機能は解除されます。

■ [オールスタート]モードの使用
 全てのタイマーを同時スタートできます。

【オールリターン】
 ①S1ボタンを押すと停止します。
 ②S2ボタンを押すと全て元のタイマー設定値に戻ります。

■ オールオフ機能
 アラーム及びタイマーは1週間の無操作状態全てが無効となります。(パワーセーブモードが起動するためです。)いずれかのボタンを押すとパワーセーブモードを回避できます。

■ ストップウォッチ機能
■ ストップウォッチの使用 59分59秒99(最大計測時間) 1/100秒(最小計測単位)

【スタート】 ストップウォッチ表示状態からS1ボタンを押すとスタートします。スタート/ストップをする際はS1ボタンを押します。

【ストップ】 ストップウォッチ表示状態からS1ボタンを押すとストップします。スタート/ストップをする際はS1ボタンを押します。

【リセット】 ストップウォッチが停止している状態でS2ボタンを押すとストップウォッチ時間がリセットされます。
 【ストップリターン】 ストップウォッチが動いている間にS2ボタンを押すとストップウォッチ表示(S)が60秒間減ります。再度S2ボタンを押すとストップウォッチモードに戻ります。

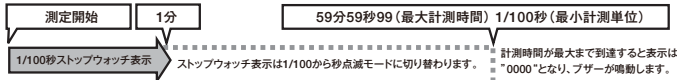
■ ストップウォッチ表示
 通常モード状態からS4ボタンを押すとストップウォッチモード[S]になります。

【スタート】 ストップウォッチ表示状態からS1ボタンを押すとスタートします。スタート/ストップをする際はS1ボタンを押します。

【ストップ】 ストップウォッチ表示状態からS1ボタンを押すとストップします。スタート/ストップをする際はS1ボタンを押します。

【リセット】 ストップウォッチが停止している状態でS2ボタンを押すとストップウォッチ時間がリセットされます。
 【ストップリターン】 ストップウォッチが動いている間にS2ボタンを押すとストップウォッチ表示(S)が60秒間減ります。再度S2ボタンを押すとストップウォッチモードに戻ります。

■ストップウォッチ表示



スタート/ストップ/スプリットは60秒間表示されます。その後通常モードに切り替わります。(デジタル表示無状態)、S4ボタンを3回押すとストップウォッチモードとなります。電池残量がなくなるまで計測時間は保存されます。

■交互表示モード

計測時間が1分未満の時スプリットとストップボタンを押すと秒と1/100秒表示が点滅します。また秒と1/100秒が交互に表示されます。



■チェンジモード

ストップウォッチを使用中、他の機能を使用したり、バッテリーの消耗を防ぐためストップウォッチ表示を消すこともできます。S4ボタンを押すとチェンジモードになります。(ストップウォッチ表示はオフとなりますが、ストップウォッチは稼働しています。)

■デモンストレーション

ハイブレーションとブザーを30秒間でもストレーションすることができます。

■ハイブレーションデモ……S1とS3ボタンを同時に押す。 ■ブザーデモ……S2とS4ボタンを同時に押す。

■電池の充電

電池残量が低下した際は充電をしてください。長時間電池切れの状態になると電池にダメージが生じる恐れがあります。秒針が2秒刻みになった場合は速やかに充電することをお薦めします。また1か月に一度は充電しましょう。低電圧アラートモード(秒針が4秒刻み)になった場合はおよそ40時間充電してください。

■低電圧アラート

低電圧になるとアナログの秒針が飛びます。

秒針	アナログ時間		デジタル時間		追加機能			
	機能表示	表示	設定項目	モード稼働	設定項目	モード稼働	メモリー	外部照明
1秒刻み	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2秒刻み(#.4)	△	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4秒刻み(#.4)	△	✗	△	✗	△	✗	△	✗
停止	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗

低電圧アラートが出ても時刻は正確です。電池が切れた際は時刻を合やす前に最初に充電してください。ご使用状況により2秒刻みのモードは回避できます。

■充電の仕方

- ACアダプタを充電器の側面にあるACアダプター端子に接続します。
- ACアダプタをAC100Vのコンセントに差し込んで、充電器のチャージランプが点灯していることを確認します。
- ご購入後初めて充電される場合は、時計の裏ボタンから透明の保護シールを必ずはがしてください。
- 時計のガラス面を上にして図のように時計を充電器の裏面接地面の中心に合わせて載せます。
- 時計のLEDを確認します。外部照明が点滅していれば充電がされています。



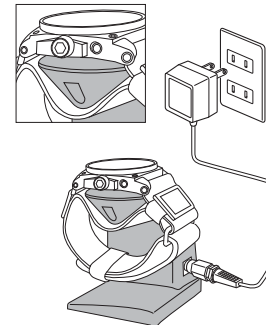
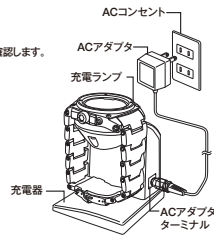
- 充電が完全に行われると、LED(3か所)が同時に点滅します。
- 充電が完了したら、時計を充電器から外して、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 時計と充電器は充電中に若干温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電器は他の時計以外にはご使用にならないでください。
- 充電器をご使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■時計のLEDが点滅しない場合、

- 時計の裏ボタンに透明の保護シールが付いていないことを確認してください。
- 時計と充電器の裏ボタン接地面の間に汚れやホコリ、その他の遺物が無いことを確認し、あれば取り除きます。それでも時計が充電しない場合は購入元またはサービスセンターへご連絡ください。

■充電の仕方(BallisticバンドやNeopreneバンドの場合)

裏ボタン側のバンドを裏ボタンから離し、充電器の設置面を裏ボタンとバンドの間に差し込みます。(図参照) その際時計は充電器の中央に設置してください。時計の裏ボタンと充電器の時計設置面が直接接している必要があります。



■バンド長さの調整方法

時計のコマの外し方:

バンドの長さを含わせる際は同梱の六角レンチ(インチ)をご使用ください。初めにバックルの最初のコマを外します。バックル(矢印A)の左側のネジ(矢印B)をレンチで押さえないながら反時計回りにネジを回してください。同様の方法で右側のネジ(矢印C)も外してください。

バンドの長さに応じて必要な数のコマを外してください。外すコマの順番は図の通り1A、1B、2A、2B、3A、3B...となります。外し終わったら上記の方法でバックルを取り付けてください。

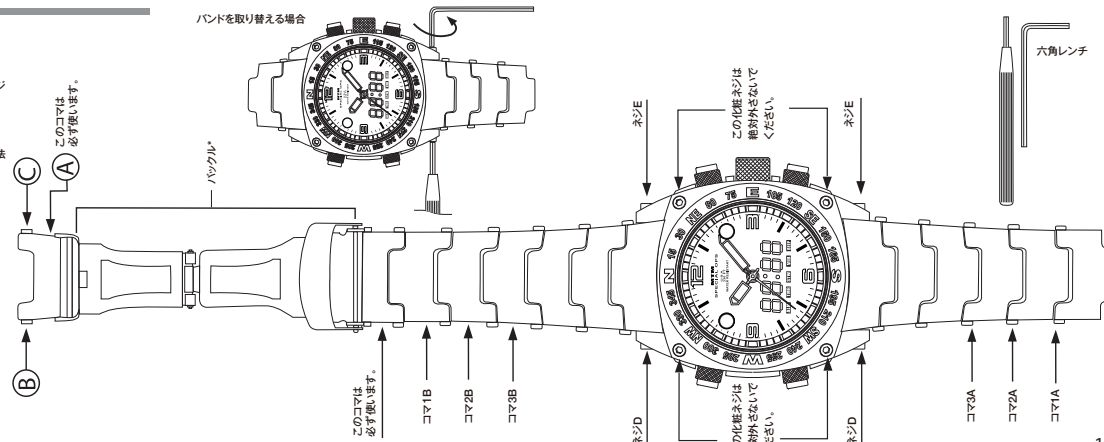
バンドの取り外し方:

同梱の六角レンチ2本を使います。最初にネジDを六角レンチの1本で押さえずネジEをもう1本の六角レンチで反時計回りにネジを回し外します。(図参照)六角レンチの長い方を使い、慎重にネジDを穴から押し出します。

ケース上部にある化粧ネジは絶対に外さないでください。

重要

コマのサイズはそれぞれ異なりますので、順番通りに外し取り付けない場合きちんと調整ができない可能性があります。必ず上記の方法に従って外してください。



■ 充電器とアダプタの取り扱い上の注意

警告! 発煙、火災、感電の原因となる恐れがありますので、以下の注意事項は必ずお読みください。 **火災** **感電**

■ 充電器とアダプタの取り扱い上の注意

- ACアダプタと電源コードの取り扱い
 - ACアダプタはアダプタに表示している電圧と同じ事を確認の上差し込んでください。仮に電圧が違った場合、電源部の爆発や高温によるダメージが生じる恐れがあります。
 - 電源コードに損傷がある場合はご使用にならないでください。損傷がある電源コードをご使用された場合は高温や感電により火災を起こす可能性があります。
 - 電源コードの上に重量物を載せないでください。ショートや感電による火災を引き起こす可能性があります。
- 水やその他液体に対しての取り扱い
 - 充電器、ACアダプタは絶対に濡らさないでください。
 - 濡れた手で充電器やACアダプタ、電源コードに触れないでください。感電する恐れがあります。
 - 方角一水などの液体が充電器やACアダプタにかかった場合は直ちにコンセントから電源コードを抜いてください。感電、高温によるショート、火災やその他故障の原因となる恐れがあります。
- その他
 - 充電器は分解・改造をしないでください。火災、感電や時計にダメージが発生する可能性があります。
 - 充電中は充電器を布などで覆ったり、包んだりしないでください。高温により火災や時計にダメージが発生する可能性があります。

注意! 次の注意事項をよくお読みください。けがをする恐れがあります。

■ 充電器の磁気について

- 充電器に磁気カード、磁気媒体、磁気に敏感な電気機器を近づけないでください。
- この充電器は微弱ながら磁気を発生させます。フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレフォンカード、その他磁気媒体のデータが削除または損傷する可能性があります。ラジオ、テレビ、医療機器の正常な動作を妨げることもあります。それらのアイテムを保管する場合は充電器から遠ざけてください。
- この時計以外のものを充電器の上に置かないでください。金属製のものを充電器に置くと、高温になり危険です。

■ 充電器の設置場所について

以下の指示に従ってください。

- 不安定な接地面
 - 充電器は安定した水平な場所に置いてください。不安定な状態でのご使用は、落下し、充電器が損傷する危険性があります。
- 幼児
 - 充電器は幼児の手の届かないところへ置いてください。
- 熱とホコリ
 - 高温下では充電器が故障する可能性があります。
 - 充電器を高温の環境やホコリの多い場所には置かないでください。
 - 充電器は直射日光や晴れた日に車中へ放置しないでください。
- 湿度
 - 湿度は感電の恐れや充電器の故障の原因になります。
 - 充電器は湿度の高い場所や湿気の多い場所でのご使用や設置はしないでください。

■ 充電器の取り扱い上の注意(つづき)

注意! 次の注意事項をよくお読みください。これらの注意を守らないと、怪我をする可能性があります。

■ 充電器のお手入れについて

充電器は水洗いできませんので布で乾拭きしてください。特に汚れが付いている場合は固く絞った布で水拭きし、乾いた後ご使用ください。

- 感電を防ぐため、湿らせた布で拭く前には必ず充電器の電源を切ってください。
- 充電器の清掃には、溶剤、シンナー、ベンジンをご使用にならないでください。充電器の変色や変形の原因となります。
- 電源プラグ周りのホコリは定期的に取除いてください。ホコリが溜まると火災を生じる恐れがあります。

■ 充電器の保管について

電器を使用しない場合は、ACアダプタを外して充電器を箱に戻してください。涼しく乾燥した場所に保管してください。

■ 二次電池について

この時計に搭載されている二次電池は充電・放電を繰り返して行えるため、一般電池のように定期的な交換する必要はありません。ただし、何度も充電すると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。電池を交換する必要がある場合は、取扱説明書に記載のある当社のサービスセンターへご連絡ください。

警告! 何らかの理由で二次電池が時計から取り外された場合は、幼児の手の届かない所で保管してください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に連絡してください。

注意! 通常使用において、二次電池は決して時計から取り外さないでください。この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対にご使用にならないでください。水銀電池など他の種類の電池を使い充電すると過充電のとなり、電池が破裂し人体が傷ついたり、時計にダメージが発生する可能性があります。時計に内蔵されている二次電池を使用して、他社の充電式時計または一般の非充電式時計に使用しないでください。

■ 取り扱い上のご注意

■ 防水性能について

警告! この防水時計は毎日の通常使用のために設計されており、顔を洗う程度でご使用できますが、水中での使用はお避け下さい。5気圧対応の防水時計は日常の使用用に設計されており、しぶきなどがかかっても大丈夫な程度でご使用可能ですが、スキューバダイビングなどでのご使用はお控えください。10気圧、20気圧対応の防水時計は、スキューバダイビング中に着用することができますが、ヘリウムガスを使ったスキューバダイビングやディープダイビングのご使用はお控えください。MTMの腕時計は10~20気圧対応となっています。

注意! 通常のご使用時はりゅうすをしっかりと締め、ねじ込んでください。時計はきれいな水で洗い、塩水に浸かた後は拭き取り乾かしてからご使用ください。水中や水がかかる場所での装着時は、操作をしないでください。お湯の中に時計を放置しないでください。時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気温が時計内部の温度より低くなった場合ガラス面が曇ることがあります。曇りが長時間消えない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。蛇口から出る水道水の圧力は思いのほか高いです。蛇口からの直接の水で時計を洗わないでください。

● 防磁について

注意! 当時計は家電の磁気の影響を受けません。強い磁場がある場所には時計を近づけないでください。

*健康器具や強い磁場が発生する冷蔵庫のドアや溶接機の近くではご使用にならないでください。
*磁気の影響を受けている場合、時間が一時的に早まったり遅れたりすることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度に戻りますので、正確な時刻に調整してください。

● 化学薬品及び有毒ガスについて

注意! 化学薬品、ガスや水銀に時計ケース、金属バンドが触れると変色する恐れがありますのでご注意ください。

● 衝撃防止について

注意! ゴルフやキャッチボールの軽スポーツによる影響はありません。
*但し、固い場所や時計影響を及ぼす場所へ落としたり、強くぶつけるなど激しい衝撃を与えないで下さい。故障の原因となる場合があります。

● 振動について オートバイ、チェーンソー、またはドリルの振動の影響を受けた場合、一時的に時間がズレる場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

●製品を安全に正しくお使い頂き、ご使用になられる方やその他の人々への危害や損害を未然に防止するため、次のシンボル(記号)を表示しております。

警告! この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告! ●部品を飲み込んでしまう恐れがありますので幼児の手の届かない所で管理ください。万が一、幼児が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。

警告! ●次の様な状況での装着はお止めください：
腐食などにより時計ケースに鋭い角が発見されたとき。

警告! ●バンドを固定しているネジが出てきた場合は、時計販売店またはMTMカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

警告! ●アレルギー反応や偶発的な中毒症状が出た場合は、時計の着用を中止しすぐに医師に相談してください。

警告! ●誤ってケガをしないように、乳幼児の届くところには時計を置かないでください。また分解したり改造したりしないでください。

●次のシンボル(記号)はその他の危険要素を示します。

感電 これらの表示を無視したり、誤った使い方をした場合、感電する恐れがあります。

火災 これらの表示を無視したり、誤った使い方をした場合火災や煙による損傷の危険があります。

■ 長時間使用する際

● 点検の推奨

この時計は2~3年に1回点検することをお奨めします。購入した店にお問い合わせ、点検の上、汗や水などの異物を除去してもらってください。この点検の結果によっては、修理が必要な場合があります。
※その際、バンド用純正ガセットとスプリングバーの交換をしてもらってください。

● 持ち運びする際の注意

*心臓病を患っている方で、バイブレーションモードが原因で心臓へ影響を及ぼす心配がある場合はバイブレーションモードをOFFにしてください。

注意! *幼児を抱きかかえる前に、ケガを防ぐために時計を取り外してください。
*激しい運動や仕事中は、自分や他の人が時計でケガをしないように注意してください。
*ワレタンバンドは色落ちしやすい衣料品と一緒に着用しないでください。

● 時計ケースの取り扱いについて

注意! *時計のケースが直接肌に触れるため服の袖を汚したり、肌が敏感な人は発疹を起こすことがあります。水で濡らせた柔らかい布や吸収性の高い布を使用し汚れを拭き取り、常に時計を清潔に保ってください。
*発疹があらわれた場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

● メタルバンドの取り扱いについて

注意! *水を含ませたブラシ、洗剤で洗浄し時計を清潔に保ってください。
*皮膚に刺激を感じる場合は直ちに医師に連絡してください。
*バンドのバックルを締めたり外したりするときは、指の爪を傷つけないようにご注意ください。